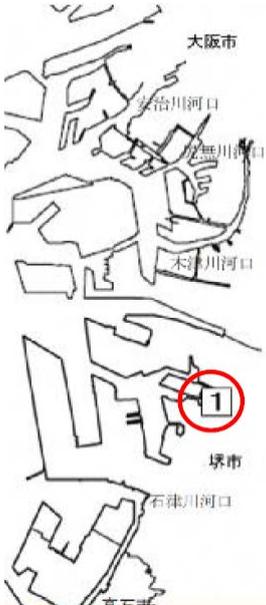
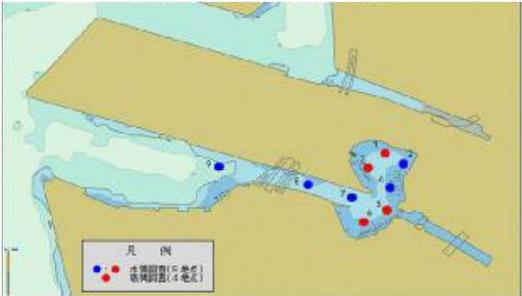


【1-11】

湾・灘の区分	大阪湾
取組の名称	大阪湾湾奥部における栄養塩類実態調査
事業期間及び事業費	事業期間:平成30年度から 事業費:1,234千円(令和元年度)
事業体制	大阪府環境農林水産部 環境管理室 環境保全課
事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> 第8次総量削減計画(平成29年6月策定)及び瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画(平成28年10月変更)において、湾奥部における栄養塩類の過度な偏在の解消や、栄養塩類の適切な濃度レベル及び管理手法の確立に向けた取組等の推進等が施策として位置づけられている。 平成29年度、大阪湾の水環境を改善する具体的な手法を検討するため、学識経験者や企業、関係行政機関による懇話会を設置して意見交換を行った。その中で、湾奥部の埋立地間海域等における栄養塩類の滞留等の改善施策を進める上で、まずは汚濁負荷の流入状況や、栄養塩類等の分布、流れの状況等を把握することが必要との意見が出された。 このため、湾奥部の高閉鎖性海域における栄養塩類濃度の滞留状況や雨天時の流入負荷の実態、湾南部における栄養塩類濃度の実態について調査を行う。
事業場所の詳細	<p>堺旧港</p>  
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○調査日時 [晴天日調査]平成30年10月13日 [降雨日調査]平成30年9月1日 ○調査地点 地点① ○調査項目 [水質調査(表層及び底層)] 水温、塩分濃度、DO、クロロフィルa、全窒素、各態窒素、全りん、りん酸性りん等 [底質調査] 強熱減量、TOC(全有機炭素)、COD、全窒素、各態窒素、全りん、りん酸性りん等

<p>取組による効果・影響の判断基準及びその結果等</p>	<p>全地点において、一定深度以下の層ではDOがほぼ0であり、生物の生息に厳しい環境であることを確認</p> <p>水質調査結果（平成30年9月1日降雨日） ※代表地点の水温・塩分・DOの鉛直分布</p>
<p>現状での課題</p>	
<p>今後の予定等</p>	<p>今回の実態調査で得られたデータについて、分析・検討を行う。</p>
<p>取組事例についての発表資料等</p>	<p>瀬戸内海環境保全小委員会（第16回）資料</p>
<p>情報提供元</p>	<p>大阪府 環境農林水産部 環境管理室 環境保全課</p>